

歯周治療学実習（小牧基浩）

Practical training for Periodontology (Motohiro Komaki)

キーワード

- ①細胞培養の基礎 (basics for Cell Culture)
- ②増殖と遊走 (growth and migration)
- ③遺伝子導入 (gene transfection)
- ④細胞分化誘導 (induction of differentiation)
- ⑤PCR法 (Polymerase Chain Reaction)
- ⑥免疫組織化学 (Immunohistochemistry)

関連する学位授与方針

- ①
- ②
- ③

関連する教育実施方針

- ①
- ②
- ③
- ④

授業概要

「歯根膜はなぜ石灰化しないのか」という疑問に対して、過去に報告はあるか（論文検索の方法）、どのように証明するのか（材料と方法）、実験から何が言えるのか（実験法から言えること、結果の書き方）など、臨床での疑問に対してどのように答えを見つけるのか(Evidence)を実践形式で学びます。

授業科目の学修目標

実習を通じて、日常臨床での疑問にどのように答えを出すのか、その手法と理論を理解する。

授業計画

- ①研究計画立案 10コマ 小牧基浩
- ②細胞培養法～細胞増殖と分化誘導法 10コマ 小牧基浩
- ③タンパク質解析法 10コマ 杉原俊太郎
- ④核酸解析法 10コマ 小牧基浩
- ⑤免疫化学的解析法 10コマ 杉原俊太郎
- ⑥図・表の作成 5コマ 平田貴久
- ⑦解析結果のまとめ方 5コマ 平田貴久

教科書および参考書

なし

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

与えられたテーマに関連する論文読解の語学力と研究基礎能力

大学院生が達成すべき行動目標

- ①問題を発見し、解決のための研究計画の立案ができる。
- ②細胞培養に必要な器具と手技を説明できる。
- ③⑤細胞の増殖、遊走、分化の原理と手技を説明できる。
- ④⑥⑦タンパク質、核酸の評価に必要な手技が説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
0%	0%	20%	0%	0%	40%	40%	0%

評価の要点

- ・レポートは、授業計画5項目について課題を提出。4% x 5回=20%
- ・口頭試問は、授業中のディスカッションにより評価。8% x 5回=40%
- ・実技は、授業計画の5項目についてプロダクト達成度を判定する。40%

理想的な達成レベルの目安

75%